

平成21年度第3回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録

【日 時】平成21年8月27日(木) 午前10時5分から午後12時5分

【場 所】市役所第二庁舎会議室

【出 席】12名

【欠 席】東 委員・鎌田 委員

1. 委員紹介

会議に先立ち、新たに選任された、市民委員の都田 浩司さんに自己紹介をお願いした。

2. 議 題

(1)第1回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録の確認について

資料2の通り確認された。

(2)小平市視察の意見・感想について〔資料3〕

小平市立学校給食センターの見学をした6名の委員に意見、感想を述べてもらった。

〇〇委員 最初、民間委託に対し、「丸投げ」というイメージがあったが、実際に視察して、小平市立学校給食センターと委託会社との良い関係が分かった。朝7時から調理開始ということだった。給食の試食もし、野菜もたくさん使われていて、子どもたちのために一生懸命考えているのだなと思い、民間委託に対するイメージが変わった。

〇〇委員 教職員として、多摩市の給食センターを10回以上、見学しているので、どういう風に動いているかを見て知っている。小平市を見学したとき、多摩市で見たのと、ほとんど違和感がなくスムーズに動いていると思った。民間委託でも流れは同じにスムーズに動くのだと思った。

〇〇委員 給食センターの見学は初めてだったが、何もかもスムーズに進んでいて、(勤務開始等の)時間が、多摩市と極端に違うと思った。朝早く出勤し、手の込んだ献立ができるのは、いいなと思った。保護者等が関わっている学期ごとの献立作成委員会がいいなと思い、多摩市でも実施してくれたらと思った。牛乳もおいしく、料理もおいしかったので、給食センターのイメージがアップした。

〇〇委員 給食センターや自校式の献立を見る機会が多い。小平市の場合、手作りを基本としているということだが、センター方式の場合、流通しているデザートや冷凍食品を揚げるだけという献立を見受けるが、センター方式でよくあそこまでやっているなと感じた。驚いたことに、

委託の調理員が大型免許を持っていて、調理作業後、配送も行なっているとのことで、今まで聞いたことがなかったので、調理員もそこまで要求されているのだと思った。献立作成委員会について、魅力を感じた。生徒のアンケートやリクエストを、献立に取り入れていることに魅力を感じた。

〇〇委員 試食をして、自宅でも塩分を控えているつもりだったが、思った以上に子どもたちが普段、口にするものはバランスよく、健康面で管理されている感じがした。給食センターについても、民間委託という点、少々仰々しいイメージがあったが、簡素でとても清潔で、こういった形であれば、抵抗感をもたれている小学校保護者の方たちも、少し考えが変わるのではと思った。私たちは実際見ることができ、すごく良く分かったが、もっとよい形で納得していただける方向がこの委員会で築いていけたらと思った。

〇〇委員 効率的にスムーズに運営を行なおうとしている感じが伺われた。食の安全についても気を遣っていると感じられた。

以下、質疑応答である。

〇〇委員 調理場は、見学というか、公開はされているのか。

学校給食センター長 多摩市も小平市と同様、2階部分からガラス越しに見学することになる。現場には、職員も含め、健康診断や検便をして結果が良好な者しか入ることができない。

〇〇委員 多摩市の給食センターは、保護者の見学の申し入れを受け入れているか。

学校給食センター長 事情が許す限り、受け入れている。また、希望があれば、試食もしてもらっている。

〇〇委員 高齢者と児童との世代間交流の試食は行なっているか。

学校給食センター長 試食ということ言えば、平成20年度の全体の数は、試食会37回、延1,049名である。

(3) 学校給食の運営のあり方について (資料)

資料4・5について、事務局から説明。

以下、質疑応答である。

〇〇委員 資料5の残菜の処分量だが、これは処理費を出すためのものか。

学校給食センター長 その通りで、個別に残菜の計量をするのは難しいので行なっていない。

〇〇委員 一人当たりの残さい量の推移のデータはあるか。

学校給食センター長 資料提供する。

〇〇委員 一般的な、残菜の状況を説明して欲しい。

学校給食センター長 残菜の量のことだけ言えば、子どもの好きな、カレー等を出せば残らない。献立によっては、嗜好の関係で、たくさん残ることがある。ただ、残菜は少ないほうが望ましいので、今後も献立の工夫をしたいと思う。学校にも、指導等をお願いしたいと思う。

〇〇委員 家庭では、親の嫌いなものは出さない傾向にあるので、親の責任もあると思った。

〇〇委員 資料の P.22 に PTA 役員会における主な質問が載っているが、給食センターのホームページに、委託に関する Q&A を掲載することはできるか。

学校給食センター長 ホームページに意見等の入力フォームをつくり、意見等を募り、それを多摩市立学校給食センター運営委員会(以下、「運営委員会」という)に提示し、審議の参考にお示しすることを考えている。

〇〇委員 ホームページに、全保護者に対し、Q&A を掲載する予定はあるか。

学校給食センター長 Q&A ではなく、意見・提案の受け付けを考えている。それに対し、答えるのではなく、それを運営委員会の中で、公表することを考えている。

〇〇委員 資料4 P.22-⑩に「今日いきなり聞いても質問できない。意見等をどのように伝えたらよいか」とある。自分自身、民間委託って何？民間委託ってどういうメリットがあるの？と聞かれることがある。小中学校の保護者にいきわたるようにホームページに掲載するという方法があると思う。

先日、青少協の永山地区委員会に出席したとき、市議会議員さんがいらっしゃっていて、小平市の学校給食センターのことを話していたが、二つ三つ、運営委員会で見学に行ったときに聞いた内容と違うことを言っていたので、自分はこう聞いていますと説明したことがあった。運営委員は、委員会で市の考えを直接聞くことができるが、一般の市民の人は、例えば間違った情報が流れてしまうと、民間委託への移行がスムーズに行かないというか、誤解が誤解を呼ぶことがあると思う。市の考えを直接示した上で、Q&A で多摩市から直接

回答する方が、理解を得られるのではないか。

学校給食センター長 各校のPTA役員会に伺った際、PTA役員だけにではなく、全保護者を対象に説明をしてほしいという要望があった。今後、各学校単位で説明に来て欲しいという要望があれば、出向くつもりである。

また、学校を通して、PTA会長に運営委員会資料を送付する。また、ホームページに、運営委員会資料とともに要点会議録等を掲載し、意見等を受け付ける。

〇〇委員 ホームページでQ&Aを受け付け、それに対する答えや市の考え方を全保護者に手紙を出せないのか。保護者の中には、他のケースと勘違いしているのかもしれないが、牛乳がビンから紙パックになったときは全保護者にアンケートや手紙を出したのに※、今回、委託について出さないのは内々で話を進めているからなのかと、かなり誤解しているので、Q&A等を送れば、それで納得する方もいるのではと思う。(※紙パック導入の是非のアンケートは行なっていません。導入後の児童・生徒へのアンケートは行ないました。)

学校給食センター長 検討したいと思うが、現在、教育委員会から運営委員会に諮問が行なわれ、是非についてから始まり、審議されている。運営委員会については公開されており、また、要点会議録についてもホームページ等でお知らせする。私どもは、運営委員会での審議を尊重しており、教育委員会事務局としての説明をあまり前面に出すと、結論ありきと受け取られ、運営委員会をないがしろにしていることにならないかと危惧している。

〇〇委員 先日、自分も同じ青少協の集まりに参加したが、その参加者の中には、民間委託という以前に、市の組織は決まったことに準じているというイメージを持っている人がいるようである。委託のことが記された印刷物について、事前に何の話もなく、勝手に決めたと市に対し悪いイメージになっている。また、市の予算について、成長期の子どもたちの教育費を削っているというイメージしかない。

多摩市は予算が厳しいという現状をはっきり書いて、人件費はこれくらいかかっている、だから民間委託になるという流れや、委託のメリットを紙で示せば、誰も反対することはないが、そうではなく、いきなり平成23年度から委託というような内容のものを読むと、もう決まったことではないかと捉え、そういった人が反対にまわっているようだ。

そうではないということを、その場で説明したが、なかなか、そのイメージから抜けられないようだった。そのことを踏まえ、市はもっとオープンに、上手に保護者と関わっていないかと、これから何にあたってもしつこいのではと実感した。

学校給食センター長 今後、各学校単位で説明に来て欲しいという要望があれば、出向くつもりであるが、そ

の際に、Q&A を配りたいと思う。

〇〇委員 噂が噂を呼んでいる状態なので、市から直接話を聞くのがよい。小平市へ見学に行ったときも、悪いイメージは全くなかったし、子供たちのために手の込んだ給食を作ってくさっていたので、好印象だった。そういったことが保護者に伝わったほうがいいのかなど思った。

(4) 学校給食の運営のあり方について(審議)

会長 次に、学校給食の運営のあり方について、審議したいと思う。

第1回の運営委員会で学校給食法、多摩市の学校給食センターの概要等についての説明を受け、第2回で民間委託を導入している小平市を見学した。今回は教育委員会からの『学校給食の運営のあり方について』の諮問書の「1. 諮問事項(1) 多摩市立学校給食センター業務の一部民間委託化について」を審議したい。一部民間委託化の是非について、また、給食についての考え、委託の際はこういったところが重要ということ、ひとり一人から述べてもらいたい。

〇〇委員 アレルギーについての学校の先生方の指導を伺いたい。

〇〇委員 家庭から、何がアレルギーか情報をもらっている。その子によって、全く食べられない場合と少しなら大丈夫な場合等、個人差が非常に大きい。他の生徒たちには、わがままで食べないのではないということ理解させている。その子の性格も含めて、親御さんと相談しながら指導している。

〇〇委員 牛乳から豆乳への代替はできるか。また、卵がだめな場合、パンから米飯にしているということはあるか。

学校給食センター長 牛乳が飲めない場合は豆乳に代え、また、卵については卵抜きパンとしている。本市ではアレルギーのお子さんの保護者から栄養士が直接話を聞き、献立表を元にアレルギー含有の資料を作成しお渡ししている。

〇〇委員 先ほど、PTA代表の方から、状況の報告があったが、自分が参加していた10年以上前に比べ、今は審議の内容が公開されている。

ゴミの有料化の問題のときも、最初は不安の声もあったが、状況が分かるにつれて、ずいぶん収まっていったように思う。反対していた人も、一部の理解のない人に煽られてといるところがあった。とにかく、分からないということが、不安を増長し、現実と違う状

況が生まれていると思う。私は、一番大切なことは、運営委員会でしっかり審議し、それを出前で説明することだと思う。保護者からアンケートを受け付けるのは反対である。高校の保護者会の経験や、現在もOB会で活動させてもらっているが、手紙が行き届かなかったり、内容も感想で終わっていたりする。

〇〇委員 牛乳がビンから紙パックになったとき、アンケートを全校に出したので、今回も出して欲しいといったら、経費がかかるといって却下されたという噂があった。

文書を全員に送っても、みんなが読むわけではなく、先ほど発言があったように、不安があり質問したいという場合は、説明に回って直接回答したほうが良いと思う。

また、今、2つ調理所があるが、民間委託された場合、片方が民間で、もう一方が直営だと、給食の内容の平等という点でどうかという不安がある。それについて、どういう対策を練っているのか。現在、地域で2つに分かれているが、それを定期的に入れ替えるか等、既に考えがあればお聞きしたい。

学校給食センター長 現在、基本的には統一献立を実施している。1人の栄養士が献立原案を考え、献立会議でセンター長、所長、栄養士、調理員で議論をし、決めている。

委託になったときも、(旧)文部省の通達にあるように、献立作成は市で行う。そして、民間の調理のチーフと、市(都)の栄養士とでコミュニケーションを計り、互いに意見交換し、それを献立に反映させ、両調理所の献立会議の場にのせたとき、片や民間はできると言い、片や直営はできないということがあるのだろうか。時間的な制約では直営は不利な点はあるが、直営の職員は1つの調理所に集められることで、人的なパワーは高まる。切磋琢磨の中で、両方が良くなると考えている。

〇〇委員 医療機関も、財政困難ということで病院給食もどんどん民間に委託化されている。民間に変わって、だめということではなく、保健所としての食品衛生管理としては、相手が民間であろうと直営であろうと基本は変わらず行なっている。

ただ、民間は効率を優先する。直営は、ゆっくりでも適正にやり、効率は2の次、3の次で、捉え方に違いがある。また、公的機関は法律に基づいてやらなければならないので、勤務時間も臨機応変にできない難しさがある。民間は、サービス優先で、勤務時間等を柔軟にできる。

また、先ほどアレルギーの話が出たが、大きな施設ほど、アレルギー対応はものすごく難しい。例えば、卵がだめな場合、調理場内に専用部屋を作り、そこで調理する必要がある。アナフィラキシーショックを起こす子は、体内に蓄積していくと、最初は多少であれば大丈夫だったものが、段々、微量でも反応が出るようになる。

卵アレルギーのある子が、市販のドーナツで卵を使っていないと表示があり、なおかつ未使用であることを問合せしたうえで、それを食べたらアレルギーが出たことがあった。

保健所で調査したら、ドーナツには卵は入っていなかったが、揚げた油に、前にあげた食品に含まれていた卵が溶け込んでいたという事例があった。

卵アレルギーに対しては専用の部屋を作り、そばアレルギーについても専用の部屋を作りというように、アレルギー対応を集団給食で行なうのは、非常に大変なことである。中途半端に受け入れられますと言うのは、逆ではないかと思う。親御さんは大変だが、弁当持参等の方法が一番間違いないのではと思う。

〇〇委員 直営の業務の内容と民間委託の業務の内容では、どちらが集中してできるか、と考えていた。仕事が多岐にわたっていると集中できないが、民間委託にすると専門的な部分に力を注げるのかと考えていた。

〇〇委員 自分は公営については詳しくないが、民間委託の場合、会社は経営がかかっているので、効率は大切にしている。いただいた運営委員会資料の数字を見て、正直驚いた。人件費、材料費等、民間では常識外の数字である。民間ではこの他、税金や家賃を払っている。公は、税金や家賃を払わなくて済むので、その分充実したものができるはずなのだが、民間委託した場合、民間は効率を充分考える。小平市で朝7時出勤というのも、交代制で行なっていると思う。チェーンレストランでは、正規の従業員は数えるほどしかいない。その代わりに、マニュアル、分業化に力を注いでいる。会社は存続をかけているので、そういうことをする。差は出てくると思う。

メリット、デメリットにあったが、近年、倒産は、製品的なことではなく、金融問題に起因することが多い。公営は、つぶれないという甘さがあるが、品質管理の問題に負けが出てくるのでは。

先ほど事務局から切磋琢磨という言葉があったが、本当に食べ物は腕次第で差がつく。民間への委託の仕方次第だが、かえって、公営の方が非難されるのでは。統一献立で行なうということだが、かえって競争意欲が出て、のんびりできないので、公営の方が追い立てられることになるのでは。

〇〇委員 給食全体で考えた場合、委託は学校だけではなく、病院・事業所等になると、ほとんどが委託になりつつあり、学校給食においても段々増えていくことは避けられないと考える。栄養士の勉強をしている学生の教育実習の関係で、企業の社員食堂とやりとりをする中で感じたが、チーフという一番上のマネージャー職の人が大体2～3年ごとに代わってしまう。チーフによって、給食の内容や運営ががらりと変わってしまうことがあるので、委託になった場合、かなり綿密に仕様書を詰めて考える必要がある。すごく準備が要るので、大変なことだと思う。

〇〇委員 現在は大学で教鞭をとっているが、以前、委託会社に勤めており、そこは小平市の給食

を委託されている会社だった。衛生指導で何度も足を運んでおり、内容は分かっているので発言を控えていた。

民間委託は心配という雰囲気があると思うが、委託会社は企業の存続を賭けている。周知徹底し、特に衛生面では、非常に厳しかった。

私的意見だが、委託については避けられないことだと思う。その中でどうするか、考える方が良いと思う。

業者はたくさんあるので、姿勢や業務に対する考え方を見ることは大切で、特に大事なものは衛生面だと思う。社員教育をどうしているかということに突っ込んで、選定の仕方がすごく重要なポイントになってくると思う。

もし、避けられない流れであれば、運営委員会として方向性を決めた上で、どういう選定をするかというポイントに移っていった方がいいのではと思う。

〇〇委員 学校給食については、全面委託ではなく調理のみについて、つまり技術提供ということだと思われる。その他については、そのままということなので、他の企業等の民間委託とは、かなり異なるのではと思うので、その技術提供してくれるところ、確実なところを検討すれば、今までとは変わらない、むしろ同じ職員でない分、お願いできる部分、または強く指導できる部分があるのではないかと非常に感じる。

会長から、まとめ方として、次回の運営委員会の当初で民間委託の是非について諮るか、それとも、今回で結論を出すかとの問いかけがあり、結論としては、論点や内容を事務局で整理し、次回の運営委員会では是非について諮り、それに基づき、さらに進めることになった。

3. 報告

(1) 平成20年度多摩市立学校給食センター給食費会計収入支出決算について

監査委員から、給食費会計決算について適正に執行されていることが、報告された。

次に、資料6に基づき、事務局から説明をした。

以下、質疑応答である。

〇〇委員 未払金について、市から催促しているか。

学校支援課長 学校支援課と学校給食センターで、毎月、電話督促をしている。また、学校には、保護者宛のおたよりに未払金について載せてもらっている。

学校給食センター長 校長先生名で、督促文書を出している。

〇〇委員 督促を業者に委託できないか。

学校給食センター長 教育的部分があるので、難しい。

〇〇委員 主な滞納の理由は？

学校給食センター長 病気等や、口座に入金していたが先に別の引き落としがあった等。

〇〇委員 なかには常習性のある人もいると思うが、法的措置を取るのか。

教育部長 視野には入れている。

〇〇委員 資料 P.30 にあるが、給食の中で保護者が負担している部分は少なく、行政に負担してもらっている部分が多い。また、1食当り単価も減っていることが分かる。

運営委員会に出席しているから、こういう資料も目にもすることもでき、こういったことも出前等で説明すると給食のありがたみが分かるのでは。

※ 次回については、10月19日(月)または28日(水)で、委員の都合を伺ったところ、28日(水)午後3時から、場所は市役所401会議室に決定した。